DIARIO No 2439 S. Paulo 27 de Março de 1941
NOTICIAS DO BRASIL
Redacção e Administração Rua Fagundes, 196 - Caixa, H

伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七一四六七〇
社長 黒石清作
購讀料 一ヶ年 六十鉼
半ヶ年 三十鉼

珈琲	
サントス四等 十キロ	二四、〇〇〇
リオ七級	一九、五〇〇

爲替	
對日	四、六七〇
帝國送金	五、六七〇
對米	一九、七七〇
對英	八〇、〇五〇

英の地中海艦隊
大西洋へ愈よ出動か
既にジブラルタルへ集結待機の噂

〔ニューヨーク二十六日同盟〕獨逸側が大西洋上に於ける船舶撃沈戰に主力艦まで出動せしめて、愈々大攻勢に出て來たのに對し、英海軍が如何なる對抗策に出るか注視されてる時、U・Pジブラルタル電は、英地中海艦隊の大部分が既にジブラルタル港に集結を了し近く大西洋に向つて出動せんとしてる、とセンセーショナルな報道を傳へてる、諸般の情勢より推して英海軍が地中海艦隊の一部を更に大西洋に廻航する事は考へられてるが、ギリシャ戰局の重大化を控へてる點などより見ても、右ユーピー電は余りにも先走つたものではないかと云ふのが一般の見る處である

ユーゴー領土内
獨伊兩軍通過要急せず
チアノ外相 ユ首相へ通牒送る

〔羅馬二十六日同盟〕獨伊兩國はユーゴーの三國同盟參加に當り、ユーゴーに對し戰爭中、絶對に軍隊通行許可を要求せぬとの確約を與へた、チアノ外相よりツベトコヴィッチ首相に當た右通牒文、次の通り

イタリア政府を代表して次の如く通牒する名譽を有する、ユーゴースラビアの三國同盟參加により、獨伊兩國政府はユーゴースラビアの主權と領土保全を如何なる場合にも尊重するとの意思を茲に確認する、余は獨伊兩國政府は戰爭繼續中ユーゴー領土内の軍隊通過は要求せずとの申合せにより獨伊兩國政府とユーゴー政府との間に執り行はれることをイタリア政府も承認したことを茲に通達する

獨逸機械化部隊
伊軍救援に北アへ向ふ
アゲイラ市を奪還

〔伯林二十五日發〕（UP電）イタリー軍救援のため北アフリカへ向つた獨逸機械化部隊は、二十四日トリポリとキレナイカ間にあつて英軍に占領されてゐたアゲイラに敵前上陸を敢行し、同市を奪還した

英の喪失船舶
最近週間内 十三隻七一・七〇三噸

〔倫敦廿六日同盟〕英海軍省發表 三月十九日より廿五日までの一週間に亘る英側喪失商船噸數は左の如くである

合計 一三隻、七一七〇三噸
内譯 商船 七隻 六〇六七〇
聯合國船 六隻 一一〇三三

國境線を守る獨監視兵

在米ユーゴー資金
凍結令適用受く

〔華府二十六日同盟〕UP電）ルーズベルト大統領は、米國内にあるユーゴースラビヤ資金約百万弗に對する凍結令に署名を了した

英の策動 失敗一路

バルカンに於る
樞軸の勝利は決定的
對トルコ關係も好轉見込

〔アンカラ二十六日同盟〕ユーゴースラビアが樞軸陣營に加入の結果ブルガリア、トルコ不可侵協定以來獨逸に對し微妙な關係にあるトルコの對度は關心の焦點となつてるが、アンカラ官邊ではこれについてトルコは從來獨逸と親善關係維持に努力して來て且り現在でもこのことには變りはない、トルコは英國と相互援助條約を結んだがこれは樞軸國に對する敵意を有する爲めではなく只自國の保全を計ることを目的としたに過ぎないと述べ好意的態度を表明してゐる、ブルガリアの三國同盟加入以來トルコの對獨態度は著しく變化した結果イノウ・トルコ首相の獨逸宛親書はこれを裏付けるものであり、最近の獨逸、トルコ關係は斯て著しく改善せられたと見ることが出來ないが、今後トルコを中心とする獨伊ソの外交戰は次第に活潑となるであらうが、今回のユーゴースラビアの樞軸參加によつて樞軸のバルカンに於る勝利は全く決定的のものとなつた、殊にトルコの對樞軸關係は一層改善せられ、英國の策動は漸次失敗の一路を辿るものであらうと見られる

第七十六議會終幕
二十六日閉院式御擧行

〔東京廿六日同盟〕廿五日兩院共議事一切を悉く終了し廿六日愈々閉院式を擧行第七十六戰時翼賛議會を終了した

綿布相場

〔東京二十六日同盟〕綿布前引け四六五、三九二、五二〇、六一三、五五五、五六一五、五七三五

[illegible]

★英本土上陸戰 接迫の感

主力艦を交へた獨逸潜水艦隊が大西洋上に活躍して英商船隊が襲撃されるので、英國地中海艦隊が同方面へ出動するであらうとの報道が傳はつた

折角米國から莫大の物資武器の供給を得て、本國輸送の途中海底の藻屑とされては英國としても堪つたものではない、それでなくても武器、物資の窮乏に惱む英本土が唯一の兵站生命線を遮斷されることは死活問題である、獨潜艦の攻撃が愈々熾烈化の曉は、地中海艦隊のみならず、本土附近にある艦隊とても出動を余儀なくされる場合も想像出來る。

而して獨逸側から見れば、大西洋上に英商船隊を襲撃して、對英封鎖を強化すると共に英國艦隊を可能な限り、大西洋方面へ引付けて置き、英佛海峽方面の防衛陣を手薄ならしめ、英本土上陸戰の機を狙ふの作戰であることも考へられる

ヒツトラーが英本土攻撃をなか〳〵實行しない最大理由の一つに、ソ聯の態度と動向があるが、我松岡外相の訪歐を機會に樞軸とソ聯の關係は急速好轉の兆を示しつゝある現狀から推して、ソ聯先づ後顧の憂ひなしと見極めがつけば、大西洋方面への英艦隊牽制と相俟ち、近く英本土上陸戰を決行するのではあるまいか

◇
◇
◇

伊太利軍首腦部交迭
新參謀總長にロアッタ將軍任命

〔ローマ廿六日同盟〕伊太利政府は廿五日左の如き軍首腦部の更迭を發表した

グラヂアニ將軍引退

一、ガルボルヂ將軍 任アフリカ派遣軍總司令官兼リビア總督
一、ロアッタ將軍 任參謀總長
一、ルワシイー將軍 任參謀次長
一、グラヂアニ將軍、免アフリカ派遣軍總司令官兼リビア總督

チアノ外相

↗グラヂアニ將軍

英軍七万五千
ユ、ギ國境へ集結

〔ベルグラード二十五日發〕（UP電）三個師團より成る七万五千の英機械化兵團はユーゴースラビヤとギリシヤ國境のバルタ海附近へ集結した

總務以下一應辭職
白紙に還り翼賛會改組

〔東京廿六日同盟〕町田、中島、ヶ原、安達の議會關係四參議は、廿六日の定例參議會後、首相官邸に居殘り、前田議會局長を加へて、翼賛會改組問題に就き協議、平沼内相の七十六議會に於ける答辯の線に沿つて立案する事に決定した

一、總務會を最高機關とせる根本的改組を主眼とする
一、中央協力會議は廢止する
一、人事に關しても根本的刷新の實を擧げる爲め、總務以下の各員は總辭職し、白紙に還元した上、根本的改組を斷行する事が肝要であると謂ふ事を骨子としてるものである

〔東京二十六日同盟〕翼賛會改組に關する政府側の對應策を確定し、これが統裁をなすべき近衛首相の肚も決つたので近衛首相は二十五日夜の有馬事務總長との會見に於て有馬氏に對し改組斷行の及ぶその人的構成も興亞院のみではならぬ事を述べて現在の翼賛會部局長の辭表提出方を要請した、仍つて有馬氏は六日午後五時より本部に於て緊急臨時局長會議を召集、旅行中の後藤組織局長を除く局部長全部出席し 有馬總長より廿五日夜の首相との會談經過を說明した上、近衛首相の意を體して今回の改組を円滑且つ合理的に行ひ度き旨、依賴した

大政翼賛會副總裁
柳川平助中將に内定
林大將も有力候補

改組の中核

〔東京廿六日同盟〕大政翼賛會改組の中核たるべき副總裁の選任に就き、翼賛會、陸海軍部その他各方面の意向を綜合檢討し、内閣參議林銑十郎大將、元拓相小磯國昭大將竝びに現法相柳川平助中將の範圍より詮衡を重ねたが、この間にあつて平沼内相が推薦した柳川法相は、廿六日内相に對して内諾を與へたので茲に詮衡は急速に進展して柳川氏を副總裁に起用するに内定を見た

〔東京廿六日同盟〕大政翼賛會の改組に關する政府原案大綱は廿五日近衛首相と平沼内相竝びに首相と有馬事務總長との會見に依つて確定的となり然も近衛、平沼兩相會談に先立つて平沼、東條會談及び有馬、風見協議に依つて改組に伴ふ翼賛會の最高人事に關しても大體の方向を纏める事が出來、副總裁人選を初めとする人事刷新に關する政府最高の意向が固まつて來たが、副總裁には元首相現内閣參議林銑十郎大將が最有力候補として擧げられるに至つた

前ルーマニア皇帝
智利國へ永住

〔サンチヤゴ二十六日發〕（UP電）前ルーマニア・カロル皇帝は、智利國に永住すべく同國政府へ許可願提出中の處、今回許可された

獨長距離砲
英商船隊に巨彈浴す

〔伯林廿五日同盟〕獨軍司令部發表 一、獨長距離砲隊はドーバーに集結中の英商船隊に巨彈を浴びせ多大の損害を與へた

柳川中將

議員倶樂部は
當分の間存續

〔東京廿六日同盟〕議員倶樂部の存否については先般來役員會に於て各々意見の交換を行つてゐたが、議員倶樂部は議會閉會後と雖も必要であり殊にこれが改組は翼賛會の改組とも睨み合せて愼重に考慮するが肝腎であるから、當分現狀の儘存續する事に一致した

翼賛會の理念方向
軍は絶對變改せず
陸海軍務局長要望披瀝せん

〔東京廿六日同盟〕廿六日中に武藤陸軍、岡海軍兩軍務局長は、富田書記官長と會見して軍部案を提示して軍部の要望を表明するものと見られる然して陸海軍としては翼賛會の理念方向は寸毫も變改すべきに非ず、政府と表裏一體の緊密化の徹底を圖る事を具現化する軍部案を作成し、軍官民協力し得べき人材を起用すべきである旨、政府に要望するものと見られる

陸海軍の意向も反映
翼賛會改組方針確定
副總裁は無任所相とす

〔東京二十五日同盟〕大政翼賛會改組に關する政府原案の調整は内閣三長官の手許で順調に進捗中であり、近衛首相始め内閣首腦部は陸海軍部に翼賛會の意向を強力に反映して翼賛會の發展的改組斷行方針を確定し改組に伴ふ人事を併行的に考慮してるが、改組案の根幹をなすものは首相たる總裁と翼賛會を事實上主宰すべき副總裁を置き、その副總裁は政府、翼賛會の表裏一體關係を具現するため國務大臣たる無任所相とする事に内定し、その人事決定を急ぐ必要に迫られてゐる、從つて近衛首相としても東條陸相並に及川海相より軍部側の意向も訊き具體的考慮を巡らす譯であるが、首相は二十五日午後二時十分、平沼内相と會見、その意見を徴する處あつた

泰國參謀長
無任所大臣となる

〔バンコック廿六日同盟〕泰國東北軍參謀長ルアン・クリングアク（ヘイ・ビジト・オイタワ氏は廿四日無任所大臣に任命され、ルアン首相を補佐する閣員に加へられた

船舶管理委員
補充顔觸れ決定

〔東京二十五日同盟〕船舶改善協會では二十四日管理委員會を開催、管理委員黒川新次郎、松村菊雄兩氏辭任に伴ふ後任として牧野元、石川島造船社長荒木彦介、遞信省艦船局長尾崎禅元の三氏を選任、次いで理事長後任に遞信次官山田達雄氏を推す事に決定した

五、一五事件の
井上日照氏
東方會相談役となる

〔東京廿六日同盟〕政治結社に復活した東方會では中野總裁の下で役員の詮衡を進めてゐるが、五・一五事件の井上日照、親兵隊事件の天野達雄兩氏は相談役として東方會に參加する事に決定した、兩氏は中野氏が東方會により近衛首相を支持し、翼賛會を側面より擁護する態度に共鳴して國家革新の國民運動に乘り出す事となつたものである

日滿支經濟委員會新設
三國經濟の中樞機關と

〔東京廿六日同盟〕政府は今回日滿支經濟委員會を設置して十六年度よりこの委員會が三國經濟政策の中樞機關となつて、統一的政策の下にこれが具現に邁進する事になつた右委員會の委員は企劃院、興亞院、對滿事務局、大藏省、農林省、商工省、遞信省、滿洲國政府、地當局等の外内閣員會事務當局首腦これに當て、此の委員に事務局を設けてその發揮せしめる事

二人草三郎
（新興映畫上映）
小堀雄
繪 小川侍葭

千兩箱（六十九）（七）

翌朝、柳橋「田川」の二階座敷で、白藏と傳次の二人はむづりと腕を組んで、浮かぬ顔を見合つてゐた。

「——」

「——」

どちらからも、口を聞く元氣もない。折角、企んで、うまく手に入れた千兩箱は、あゝして途中から煙りのやうに消えてしまつたのだ。殊に傳次は、よろこびも大きかつただけに、その失望も大きく、ゆうべも一夜まんぢりともしなかつたせゐか、蒼ざめはてた顔は、丸で青菜に鹽のやうだ。

と、そこへ、女中が來て、黒門町の伊勢屋から番頭が荷を持つて來たと取次いだ。

「えッ、い、伊勢屋から——」

傳次が、ぎつくり、叫ぶやうに云ふのを、

「これ！」

と白藏が制して、

「それでは、此方へお通し申しておくれ」

流石に悪びれず落着いたものだつた。

「い、いゝのですかえ兄貴」

「仕方がねえぢやねえか。註文の品物を持て來たのだもの こゝはどこまでも木更津のお大盡でゐなくちやならねえ。手前は、その供のつもりで、いゝか傳次」

「大、大丈夫か、兄貴——」

「なあに、心配すると よ——叱

込んでをりましてお粗相申し上げ、主人からも宜うお詫びを申してくれよとの傳言でございました。また御新造も誠にお久し振りでお目にかゝりながら、そわ〳〵してお話も取交へつたが、呉々もよろしう申し上げてくれろとのことで——はい」

「いや、昨日は實に私も思ひがけないことで——お辰さんがお宅に縁付いておいでとは思ひませんで——昔馴染に逢ふといふのは、誠に氣持のよいものでございます」

「はい……就きましては、昨日お誂への品を持參致しましたが——」

「それは、それは、御苦勞さまでした」

「いえ、他樣ではございませんし……なに、御勘定等はいつでもお宜いのでございますが、へへへ、實は昨晩少々災難がございまして、私方へ賊が這入りました——」

「それはまア——へえ、昨夜賊が——」と、白藏はどこまでも白ばくれて

「飛んだ御災難で、嘸皆さんお驚きでしたらう。して何かお盗られでしたか？」

「へえ、金子を盗られました二人ながらギラ〳〵するのを引拔いて、はい私も生きた空はございませんでした。それで今朝お訴へ致しましたが、

徐溝縣城遂に皇軍占領

第九戰區の殲滅目的達成

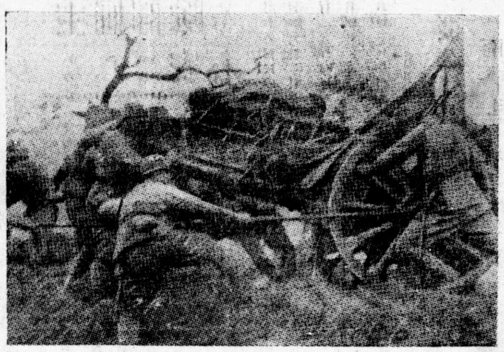
錦江方面の作戰概況

【江西前線廿六日同盟】廿四日朝來猛攻を展開しつゝあつた各部隊は、遂に同日午後、徐溝縣城に突入、完全に占領した

【江西〇〇基地廿六日同盟】去る十五日以來錦江南北に展開された第九戰區の殲滅戰は廿三日我が軍の徐溝占領に依り所期の目的を達するに到つたが、今次作戰開始以來今日迄の狀況を概略すれば左の通りである

去る十五日夜我が攻擊開始と共に、祥符見一帶の第一線に既設陣地を打破された敵第百七師は、高安附近に於て我が長野、角脇、淺野鳥巣各部隊の爲め徹底的打擊を蒙り、四分五裂となつて潰走した、又敵百師は呉樞河附近に於て櫻井、原田濱田各部隊の包圍殲滅戰の血祭りに擧げられ 續いて十九日石斗街、四隻を結ぶ線に布陣する敵第五十八師及び第五十七師が錦江街に破れたのを機とし、全線崩壊し始め同甫、奮溪、徐溝を結ぶ三角型の丘陵地帶到る處にて我が各追擊部隊の各個擊破を受け、廿三日午後第十九集團軍の本據徐溝の陥落を最後として徹底的に掃蕩されるに到つた、これよりさき第一線整備より後退した特直系敵五十一師は、突如錦江南岩に現れ池田部隊の爲め打ちのめされ、その一部は吉安方面に、一部は徐溝西南方に逃走、斯くて敵七十、七十四の二軍、六ケ師、十万の敵は潰滅狀態とつたものである

―――



砲車を押して〇〇戰線へ進擊

赫々海豐方面の大戰果

莫大軍需食料品を鹵獲

我空爆恐れ家屋公館に集積のもの

【廣東二十六日同盟】二十五日海豐方面に於て海豐北方十六キロの要衝公平新墟を奪取、潮陽方面に於て海門諸城を占領、引續き進擊を續けてる、其戰果は調査の進行と共に益々增加してるが、廿五日中に判明せる各方面の戰果、左の通り

一、仙尾附近綿花一万梱綿糸二百五十梱、メリケン粉五百袋、セメント八十袋、油類二百罐、自動車タイヤ八十、自動車部分品其他の軍需品

これ等物資は我空爆を恐れ各個人の家屋或は外人權益公館に集積されてをり、何れも香港より奥地向け輸送のものである

一、海門諸城方面同港に入港された大型ジャンク數十隻を押へ奥地向け軍需品として滿載してた砂糖、ガソリン、メリケン粉、米粉、豆粕、綿布など多數を鹵獲した、その價格約一千餘万円に達する見込み

一、潮陽附近敵遺棄死體四百、拳銃百五十、同彈藥三千小銃百五十、同彈藥四万五千、外國向け輸出用タングステン百三十万円、ガソリン、スフ類百五十万円、綿布多數

一、海豐縣城附近小銃三百、同彈藥一萬、軍服三百着、燈油二百罐、ガソリン倉庫數棟、其他拳銃、チエッコ銃彈九、タングステン若干

潮陽縣城を確保

【汕頭〇〇廿五日同盟】南支派遣軍大部隊は廿三日夜夕闇を利して汕頭海岸に上陸、上水道路の敵前を渡河し廿四日朝、援蔣物資輸送策源地たる潮陽縣城に突入、これを確保した

中國・軍事會議開催

陸海空軍を建設

【南京廿五日同盟】國民政府軍事委員會では還都一周年を前に廿五日より國民政府内に於て汪主席司會の下に第一次全國軍事會議が開催される事になつた、會議の目的け和平反共を國策とする國民政府の陸海空軍を建設し、友邦軍隊と協力し地方を綏靖し全面的和平の促進を期せんが爲めである

超短波

學習院卒業式

畏くも天皇陛下には廿六日午前九時宮城御出門、山梨院長以下職員の奉迎裡に學習院に行幸遊され、皇太子殿下御入學初の第五十一回卒業式に御親臨、同十一時廿五分御機嫌麗しく宮城に御還幸遊された

皇太子殿下葉山に行啓

皇太子殿下には學習院卒業式終了後、宮中に御參内午後二時〇五分東京驛御發、六時〇五分逗子驛に御着、葉山御用邸に行啓遊された

伊太利大使大橋次官を訪問

駐日伊太利大使は廿六日午後三時外務省に大橋次官を訪問日伊關係について重要懇談を遂げ、同卅分辭去した

法隆寺の修理

昭和五年以來十ケ年計畫、百五十万円の豫算で取り掛つた法隆寺の修理は此の程漸く完成、四月十一日から十三日まで三日間に亘り一般に公開する事になつた

青木一男氏車中大陸政策を語る

外務相顧問

【東京廿五日同盟】國民政府外務省顧問青木一男氏は廿四日夜、神戸發列車で東上したが、車中で語る

行政院の經濟委員會は委員長汪精衛、副委員長周佛海兩氏で今年當初から活動してゐる、中國の經濟開發、建設は阿部全權と汪氏との提携確立以來不可分の重要案件である、委員會は先づ計畫、統制、經濟重點主義に即して大陸の經濟政策を遂行するものであつて、我國のそれと相通ずるものがある

太湖西方綜合戰果

【江南〇〇前線二十五日同盟】太湖西方地區に於る二十五日までの綜合戰果左の如し

敵遺屍二千、捕虜六〇、鹵獲品、迫擊砲一、重輕機二十、小銃三千、其他多數

珍しく長い九尺へチマを蒔きなさい　種子一包　三釺
輸出用として買入ます。持合せの方は見本を送り數量を知らせて下さい
時報商事部

胃腸にエビオス

特獨の野菜の苗、各種
フキ、ラッキョウ、ニラ、ミヨウガ、ウド、ワサビ、ミツバ、セリ、ユリ、キク、チソ
時報商事部

●子供に"正しく強く偉くなれ"と口をすつぱくなさつてゐる親御さんは、この際"子供の園"を兒童にお與へ下さい。

在伯邦人界唯一の兒童雜誌
子供の園
三月號の内容豫告

●アハヽ、オホヽ和樂の行進曲　漫畫、落語、手品、笑話、考へもの、メンタルテスト、繪さがし、その他澤山。
●童心をゆりうごかさずにおかない美しい童話と童謠　小鳥ト狐、天狗と百姓、日本の祭、喰はぬ百丈、恩知ラズの罰。
●五大連載の物語と童話と小說は子供の園獨特のものすごい人氣の讀物陣
◎美しい日本歷史が覺えられる=日本歷史物語（十回）改進の制度=は聖德太子の卷
◎全ブラジル兒童に之だけは是非知つてゐて貰ひたい=ブラジル歷史物語（三回）カラムルー
◎思はず吹き出す爆笑ブラジル童話はモンテーロ・ロバート作の=お鼻のジョンさんはダイヤ探しの大冒險
◎俄然人氣の的になつたストウ夫人著の　世界有名小說"勝利の歌は第二回目
◎「姉と弟」の後をうけて大拍手裡に登場した=殖民少年小說、燃える日輪=は第一回より波瀾の嵐を豫告する。
●これからの兒童の是非心得てゐなければならない科學知識と社會學、物知りドトール、もしもこんな新兵器が發明されたら、長距離の走り方、ブラジ"新ニュースと話題の種
●自學自習の勉强室、これさへやれば萬全　讀方、綴方、算術、理科、手工、圖畫の教室
○皆さんの作品欄は、在伯少年四万人の活躍舞台　學力のテスト場です。
園ちやん大懸賞の當選發表さ新募集

定價、一冊三釺、半年十六釺、一年三十釺
發行所　伯剌西爾時報社

法律事務一般及飜譯
木下事務所
聖市ジョン・メンデス廣場リベルダーデ角八階八四一―八五號室　電話二―三八六

Dr. R. P. Silva
Cirurgião Dentista
齒科　大久保
聖市イルマン シンアリシアナ街一五〇番二階

清酒
釀造元　リベロン・ピーレス驛

新着圖書目錄

一九四一年三月下旬

書籍名	著者	定價
日本の進路	松村秀逸	一、七〇〇
海軍航空戰	阿部信夫	一六、二〇〇
われ等の空軍	大場彌平	一四、四〇〇
無敵日本軍	武藤貞一	一三、五〇〇
輝く陸軍將校生徒	講談社編	一二、六〇〇
ロンドン爆擊	石垣綾朗	一二、六〇〇
英帝國崩潰の眞因	リデル・ハアト	二五、二〇〇
海上權力	中村仲康	一三、五〇〇
新陸軍讀本	武田謙二	一三、五〇〇
ヒットラーとその運動	セオドル・アベル	一三、五〇〇
ガンヂー死鬪の叫び	マハートマ・ガンヂー	九、〇〇〇
ラン印と日本	松本忠雄	一三、五〇〇
帝國外交の基本政策	鹿島守之助	四〇、五〇〇
世界新秩序を繞る外交	同	二二、五〇〇
食糧戰爭	ワルターハーン	一一、七〇〇
一億人の新體制	室伏高信	一三、五〇〇
病院船	大嶽康子	九、〇〇〇
鑛塵抄	坂本星堂	一九、八〇〇
白雲去來	上田貞次郎	二二、五〇〇
曉の合唱（前）	石坂洋次郎	一三、五〇〇
未亡人	吉屋信子	一三、五〇〇
作家の手帖	伊東永之介	八、四〇〇
第三紀層の上に	賀川豐彦	一三、五〇〇
海豹の如く	同	一三、五〇〇
日輪を孕む曠野	同	九、〇〇〇
死線を越えて	同	九、〇〇〇
太陽を射るもの	同	九、〇〇〇
壁の聲きく時	同	九、〇〇〇
愛染かつら	川口松太郎	九、九〇〇
黑潮	同	九、〇〇〇
美しき囮	中山義秀	一六、二〇〇
梅と櫻	德永直	八、四〇〇
女人心情	寺崎浩	一三、五〇〇
ヘルビン河	大內直道	一一、七〇〇
藥草履	和田傳	八、四〇〇
燃ゆる大空	北村小松	一〇、八〇〇
防諜とスパイ實話	同	一三、五〇〇
螢合戰	井伏鱒二	八、四〇〇
胸の中の歌	井上友一郎	九、〇〇〇
盤若	打木村治	一三、五〇〇
日本の山	円地文子	一五、三〇〇
魚介	林芙美子	一八、〇〇〇
爪髮集	高見順	八、四〇〇
コント橫丁	乾信一郎	九、〇〇〇
靑年の果實	竹森一男	九、〇〇〇
產業戰士たち	吉田與志雄	一二、六〇〇
ドスコチルの女中	ヴイーヒエルト	一六、二〇〇
ピーターパンと一少女	バリー作	一三、五〇〇
バンビの歌	ザルデン作	一三、五〇〇
海を渡る靑春旗	守安新二郎	一一、八〇〇
復活の人	堀內新泉	八、四〇〇
裸の祝祭	佐藤虎男	七、二〇〇
女事務員	吉屋なつ子	一一、七〇〇
良寬と貞心	相馬御風	九、〇〇〇
女性の文章の作り方	吉屋信子	一〇、八〇〇
歌の作り方	金子薰園	一〇、八〇〇
負けない男、美人自叙傳	佐々木邦	一三、五〇〇
人生漫畫面、酒仙局長	同	一三、五〇〇
ガラマサドン、夫婦者と獨身者	同	一三、五〇〇
主權妻權、大女の話	同	一三、五〇〇
凡人傳、親鳥小鳥	同	一三、五〇〇
次男坊、嫁取婿取	同	一三、五〇〇
珍太郎日記	同	一三、五〇〇
脫線息子	同	一三、五〇〇
愚弟賢兄	同	一三、五〇〇
奇物變物、夫婦百面相	同	一三、五〇〇
若き女優	シルクレーア・ルイス	一八、〇〇〇
愛についての省察	ホセ・オルテガ	一三、五〇〇
日向丘の少女	ビヨルンソン他	一六、二〇〇
宿命	フランソア・モオリアック	一三、五〇〇
チボー家の人々（父の死）		一一、七〇〇
ノートルダムの傴僂男	ユーゴー原作	九、〇〇〇
怪奇探偵實話	高橋定敬	一三、五〇〇
國際スパイの秘密	山本實譯	九、〇〇〇
鐵の扉	アルセーヌ・ルパン	九、〇〇〇
歐洲の惡人	同	九、〇〇〇
怪人對巨人	同	九、〇〇〇
奇巖城の秘密	アルセーヌ・ルパン	九、〇〇〇
自由酒場	伊東銳太郎	九、〇〇〇
白魔の一夜	泉一郎	九、〇〇〇
地下の機密	伴大矩	九、〇〇〇
機密のカーテン	赤木春之	九、〇〇〇
悲願三代塔	吉川英治	九、九〇〇
覇者交代（下）	鷲尾雨工	一六、二〇〇
三國志（卷二）	吉川英治	一〇、八〇〇
同（卷四）	同	一〇、八〇〇
祇園嵐	仲側紅果	七、二〇〇
妖魔秘乃錄	吉川延	七、二〇〇
愛染獅子ケ淵	同	七、二〇〇
風雲將棋谷	角田喜久雄	一〇、八〇〇
をり鶴七變化	同	一〇、八〇〇
紅づか三治郎	久我莊太郎	七、二〇〇
くらやみ菩薩	同	七、二〇〇
お役者文三捕物帳	額田六福	七、二〇〇
おけさ湊唄	長谷川伸	七、八〇〇
講談社の新繪本		
野口英世		六、〇〇〇
ヨイ一年生（三ガッキ）		六、〇〇〇
漫畫ト愛國オハナシ集		六、〇〇〇
乙女手帖	吉屋信子	一一、七〇〇
トムソン科學物語	（全四卷）	四三、二〇〇
無敵海の荒鷲	講談社	九、〇〇〇
南京城總攻擊	同	九、〇〇〇
猛獸狩冒險記	小山莊一郎	一三、五〇〇
怪奇境探險記	同	一三、五〇〇
秘密の園	バーネット夫人	一三、五〇〇
英傑少年講談		
梁川庄八		四、五〇〇
荒木又右衛門		四、五〇〇
笹野權三郎		四、五〇〇
母さん母さん	火野葦平	八、四〇〇
力持うん吉	同	八、四〇〇
少年八雙陣	土師清二	七、〇〇〇
寶島探險記	森下雨村	七、〇〇〇
大鬼賊	南洋一郎	七、〇〇〇
火線の三人兵	山中峯太郎	七、〇〇〇
和[illegible]八郎	野村胡堂	七、〇〇〇
東洋歷史	中山久四郎	五二、五〇〇
肇國の史蹟	石川銀次郎	七、二〇〇
マホメット傳	古野清人	一八、〇〇〇
ナポレオン	鶴見祐輔	一三、五〇〇
バイロン	同	一一、七〇〇
ヂスレリー	同	一三、五〇〇
母（普及版）	同	一三、五〇〇
子	同	一六、二〇〇
ビスマーク	同	一三、五〇〇
プルターク英雄傳	同	一三、五〇〇
エヂソン傳	澤田謙	一三、五〇〇
ムッソリーニ傳	同	一三、五〇〇
トルストイ	同	一三、五〇〇
釋迦	武者小路實篤	一三、五〇〇
大石良雄	同	一三、五〇〇
一休、曾呂利、良寬	同	一三、五〇〇
二宮尊德	同	一一、七〇〇
楠木正成	同	一三、五〇〇
西郷隆盛	同	一六、二〇〇
リンカーン物語	池田宣政	一二、六〇〇
興亞靑年の道	栗原美能留	七、二〇〇
正坐法	平田內藏吉	七、五〇〇
人を動かす力	石井滿	一〇、八〇〇
上に立つ人の道	同	一〇、八〇〇
使はれる人の道	同	一〇、八〇〇
新世と新人	阿部眞之助	一三、五〇〇
修養一日一訓	高橋大海	一〇、八〇〇
膨脹の日本	鶴見祐輔	四、五〇〇
英雄待望論	同	五、四〇〇
私の半生	野間清治	二二、五〇〇
榮えゆく道	同	七、〇〇〇
修養雜話	同	三、〇〇〇
世間雜話	同	五、〇〇〇
體驗を語る	同	三、〇〇〇
出世の礎	同	三、〇〇〇
野間清治短話集	同	三、〇〇〇
世渡り秘訣百ケ條	谷孫六	二、〇〇〇
處世譚	中根環堂	一六、二〇〇
武士道逸話	小瀨[illegible]淳	一三、五〇〇
修養哲學	淺野[illegible]太郎	一二、〇〇〇
實踐哲學概論	西晉一郎	一九、八〇〇
日本思想と世界思想	有馬純清	一八、〇〇〇
美しき生活	谷口雅春	一九、八〇〇
一流の人妻子を作る	同	七、八〇〇
觀音經講話	渡邊海旭	一二、〇〇〇
禪學新講話	後藤大周	七、二〇〇
山鹿素行傳	齋藤弔花	八、八〇〇
古事記概說	山田孝雄	三一、五〇〇
無憂華	九條武子	九、〇〇〇
簡明才事記	黑水木水	一六、八〇〇
改造文庫		
西園寺公望	田中貢太郎	五、〇〇〇
あるぷす大將	吉川英治	七、〇〇〇
社會學の根本問題	ジムメル	三、〇〇〇
國文學史講話	藤岡作太郎	七、〇〇〇
江戶名所記	守隨憲治	八、〇〇〇
國民經濟學體系（下）	リスト	六、〇〇〇
岩波文庫		
國家論	スピノザ	四、〇〇〇
イエス傳	ルナン	八、〇〇〇
道德と宗教の二源泉	ベルグソン	八、〇〇〇
臨濟錄	朝比奈宗源	二、〇〇〇
勸進帳	守隨憲治	六、〇〇〇
寒山詩	太田悌藏	四、〇〇〇
陶淵明集	漆山又四郎	四、〇〇〇
いのちの十字路	シュトラウス	六、〇〇〇
ヘッベル短篇集	實吉捷郎	四、〇〇〇
弟子（上）	プールジエ	四、〇〇〇
詩と眞實（上）	ゲーテ	六、〇〇〇
ガリヴァの航海（上）	スウイフト	四、〇〇〇
思ひ出す事など	夏目漱石	四、〇〇〇
岩波新書		
無機化學	柴田雄次	七、二〇〇
光	木內政藏	七、二〇〇
民法（第二）	我妻榮	七、二〇〇
音	小幡重一	七、二〇〇
新大衆文庫		
廻れ右	鈴木暢幸	一一、五〇〇
他山の石	同	一一、五〇〇
戰時經濟と新經濟體制	高橋亀吉	一四、四〇〇
經濟記事の基礎知識	ダイヤモンド社	二二、五〇〇
世界經濟の常識	小島精一	一〇、八〇〇
貿易政策	岩田仭	一九、八〇〇
經濟史	野村兼太郎	一九、八〇〇
會計學	長谷川安兵衛	一九、八〇〇
經濟統計學	寺尾琢磨	一九、八〇〇
植民政策	加田哲二	一九、八〇〇
財政學	永田清	一九、八〇〇
外國爲替實務	大槻篤八	四〇、五〇〇
企業統制論	小島精一	一六、二〇〇
海上保險論	藤本幸太郎	一六、二〇〇
廣告論	中川一清	一六、二〇〇
銀行經營論	田中金司	一六、二〇〇
會計監査	三邊金藏	一六、二〇〇
企業形態論	增地庸太郎	一六、二〇〇
經營統計	小林新	一六、二〇〇
新會社法書式大全	尾山万次郎	一八、〇〇〇
新商法精解	同	一五、〇〇〇
岩石地質學	佐藤傳藏	三六、〇〇〇
自動車の知識と操縱法	中田嘉一	七、二〇〇
最新自動車精解	大月豐	一九、六〇〇
電氣工學及問答	東京工業研究會	一二、〇〇〇
法律年鑑（十五年度）	末弘嚴太郎	二五、二〇〇
產業組合讀本	宮城孝治	二二、五〇〇
農事實行組合	加藤健之助	一二、五〇〇
產業組合會計	德永一之丞	一三、五〇〇
產業組合金融（上下）	小平權一	二七、〇〇〇
協同組合原論	近藤康男	一三、五〇〇
產業組合問題	田中長茂他	一三、五〇〇
庭園學	田村剛	二五、二〇〇
園藝利用工業	皆川豐作	二四、二〇〇
作物病害圖編	中田覺五郎	七九、二〇〇
化學肥料	石川一郎	二〇、七〇〇
肉用雄鷄の仕立法	高橋廣治	五、四〇〇
ギター教科書	大日本家庭音樂會	二一、〇〇〇
ヴァイオリン教科書		二一、〇〇〇
マンドリン教科書	同	一四、〇〇〇
ハーモニカ教科書	同	二一、〇〇〇
ハーモニカ獨習書	綿貫[illegible]書	一一、七〇〇
日		
標		
昭和		
居		
劍		
劍道		
强體健		
中氣中風の豫防		
趣味のつり		
住宅の知識	主婦之友	
洋裁講習錄（全六冊）	高等技藝學校	
日常禮法の心得	德川義親	一五、三〇〇
交涉應待座談術	講談社編	一三、五〇〇
鶴見祐輔氏大講演集	同	一九、八〇〇
永井柳太郎氏大演說集	同	一三、五〇〇
現代名家大演說集	同	一三、五〇〇
模範的五分間演說集	同	一六、二〇〇
十分間演說集	同	一六、二〇〇
昭和靑年雄辯集	同	一三、五〇〇
現代靑年雄辯集	同	一三、五〇〇
實用式辭挨拶演說集	同	一六、二〇〇
祝賀弔祭演說	靑年雄辯會	七、〇〇〇
標準式辭挨拶大成	鈴木鼎一	一八、〇〇〇
實際的挨拶と式辭	坂本猛猪	一六、五〇〇
式辭演說大鑑	雄辯協會	一二、〇〇〇
式辭挨拶演說文範	研文學寮	九、〇〇〇
五分間演說大集	山口愛川	七、〇〇〇
現代手紙と端書文	篠原豐	五、〇〇〇
新式日用書翰文	同	五、〇〇〇
實用新書翰文	同	五、〇〇〇
書翰新辭典	佐山順吉	一二、〇〇〇
實用書翰辭典	同	一八、〇〇〇
實用新書翰	大日本實用學會	一八、〇〇〇
實用手紙の文	泰文館	四、〇〇〇
ペン字と手紙の文	同	四、〇〇〇
青年手紙の文	同	四、〇〇〇
最新手紙の文	同	四、〇〇〇
ペン手紙新辭典	中野悟郎	一二、〇〇〇
模範書翰新辭典	日高直治	一二、八〇〇
婦人手紙文範	八波則吉	一三、五〇〇
實用手紙辭典	日高直治	一〇、〇〇〇
手紙作り方百科辭典	畑由之助	一〇、〇〇〇
ペン字と毛筆の書方	泰光堂	四、〇〇〇
ペン字敎典	高橋觀城	八、〇〇〇
最新ペン字辭典	池田宙堂	七、〇〇〇
ペン字速成上達法	石川雅山	八、〇〇〇
實用百科辭典	至誠堂	一五、〇〇〇
新修辭典	藤村作	一二、五〇〇

吉川英治著
宮本武藏　圓明の卷
特製函入　定價　一六、二〇〇

實業之日本社發行
日本青年學校教科書
修身及公民科　卷一ヨリ卷五迄
定價　各二、〇〇〇

御註文は總て前金にて御願ひ致します。御送金は銀行小切手、バレポスタール、コンヴアロール何れでもよろしふ御座います。送料は一冊七〇〇レース、二冊一、〇〇〇、三冊一、四〇〇、それ以上は前記計算を繰返します品切の節の豫備二、三書名御記入願ひます。御名御住所は和備兩文にてハッキリ御書き下さい、T. Yendo以外の宛名は受取に困難です。

聖市
遠藤書店
T. YENDO
Caixa Postal, 2878　São Paulo

海洋商權の獨占を狙ひ さらに豪華船四隻を配船！
南米へ延びる米商船隊

北米のムアー・マツコーマツク商船會社副社長ロバート・リー氏は、この程ブラジル號で二ケ月半に亘る海上各方面の世界商船就航狀態視察の旅を終へ紐育に歸つたが同氏は、ムアー・マツコーマツク會社は、更に一万七千噸級の商船四隻を南米航路に配船し、完全に毎週一回づゝの旅客並に貨物運輸を可能ならしめ、これが就航は本年八月から遲くとも十二月までに實現する筈である—と語つた

主婦部隊もこれで安心
惡德商人ちゞみ上る メルカードに鋭い役人の眼！

聖市々役所衛生局が、市郊外は勿論州内各地から日々市場へ搬入される市民の生活必需品の出荷狀況並に價格調査を嚴密に行ふと同時にこれを公表し從來暴利を貪つてゐた中間商人取締に乗り出した事は既報通りである、この企圖は生産者たるお百姓さんは勿論直接生活の切盛りをする主婦部隊から非常に喜ばれてゐるが、去る廿四日中央メルカードで三キロ半の豚ゝ肉を四二ミルで商つてゐた商人があつたが折柄パラッカ見廻り中の衛生局員がこれを發見メルカード管理者に嚴重な抗議をしてキロ當り七ミル迄値下げさせた上この暴利を貪つてゐた惡德肉屋を散々叱り飛ばした事件があつた

"選拔野球" 第四日目戰績

【東京廿六日特電】第十八回全國選拔中等學校野球第四日目は廿六日午前十時から甲子園球場で開催

一ノ宮中四對〇志度商業
東邦商業五對〇海南中學
岐阜商業二對一瀧川中學

岐阜對瀧川戰は二時〇五分瀧川先攻で開始、兩軍五回まで得點なしで進んだが六回裏岐阜一點を先取すれば八回表で瀧川一點を返し、一對一の儘延長戰となり、十四回の裏岐阜貴重な一點を入れて岐阜に凱歌擧がつた

豪華!!全伯の精鋭集ふ
南米競技 最終豫選會
邦人側から七選手出場

來月末ブエノス市で擧行される第十二回南米陸上競技大會出場選手を決定する全伯最終豫選會は來る土曜、日曜の兩日に亘り、聖市チエテ倶樂部競技場で熱戰の火蓋を切るが、サンパウロ、リオ、南大河、ミナスの各州からは既に陸の強豪が續々と參集待機してゐる、競技は土曜日午後二時半から、日曜日は午前八時から開始の豫定である因に同會出場の邦人選手には左の諸君が擧げられてゐる

四百米十峰、五千米—小田、走高跳—綾智、棒高跳—石田、三段跳—宮田、藤澤、松原

新しき土を拓く人々 (15)
日伯關係の黎明期
南樹

—十五—

外山通譯官の報告は、通商彙報第百六十五號に掲載してゐるに過ぎないが、大越公使の電報は東京市の各新聞に大々的に發表され、反ブラジル移民の太鼓を叩かした。

三浦日伯はよく外務省の小役人と云ふ言葉を使つたが、かう云ふ情ない事實に接すると誰でもさうした言葉が唇頭に浮んで來る。對内問題にいそがしかつた故もあらうが、惜いかな從來日本の對外方針は出稼根性から一歩も踏み出すことが出來なかつた。

北米加州では移民の殘した金を皆本國に送らせるために各縣の送金表などを發表したりして、あらゆる方面から居留地に對する投資を阻止し、根強い發展を妨害した。日本人排斥法案の發布を見て始めて眼を覺まし狼狽し出したがもう遲かりし由良之助で、どうにもならなかつた。

ブラジル移民も、外務省の頭株に今少しく將來に對する見越しのつく人が居り、珍田にせよ、大越にせよ、うるさい事はいやだと云ふ閑居主義を捨て眞に日本民族の將來に對する考察をなす丈の國民的自覺があつたならば、表面に現れた一時の小波紋を見て全面的の斷定を下すが如きことはしなかつたらう。外山通譯官の如きはまさしく典型的な三浦日伯の所謂小外務省の小役人で、彼れ一流の文章を試作するために、聖州排日に於ける移民問題を狙上に載せたと見るの外ない。内容の貧弱な誹を免かれないが、文章はなかなか凝つたものである、調査報告は文章の手習草紙ではない。

是等の役人達の報告を讀んで根本正が榎本子爵に送つた書簡を披見して見よ。同一事象に對して其見る所かくも相違するものかと疑ふものは私一人ではあるまい。まさしく明暗の對照で、彼を夜とせば是れは晝である。外山や大越の報告をよむと頭をがんと叩かれた樣な暗い絶望的な感を與へられるが、根本の書簡に眼を移すと、舞台がからりと變つて、宛然芳香を放つ花園のなかを行くが如き明るさを感じさせられる。而してブラジル移植民を達成することが「當に日本の爲のみならず、實に人類を救ふの美事に有之と存候」と結んだ根本の言葉は立派な詩である。抽象的に云へば、全く根本は偉い所があつた。茲で少しく彼の閲歷を紹介して置く。

根本は茨城縣水戸市から那河川を溯つて一里ばかり行つた五台村の貧農の子として生れた。何んでも人力車夫もしたと云ふから多分横濱にでも出て苦學したのであらう。船員となつて北米で脱走し、スクールボーイをしながら勉強し、ドクトル・オブ・ヒロソヒーの學位を得て歸朝し—た熱心なクリスチャンである。自由黨（後に政友會）に籍を置く代議士で、茨城縣では小久保喜七など、並稱された。地盤が河地三郡であつたから、民政黨で文部政務次官をした大津淳一郎と競爭したものである「未成年禁酒法案」を十年以上も打通して提案し、遂に通過せしめた位の根強いモラリストであつたから、かうした人道的な法案には何時も彼の名を發見されたものである。

どう云ふ理由であつたか知らないが、政友會を脫會し、晩年は何時も選擧戰に敗北して不遇であつた。

とにかく根本は民間人として「ブラジルに移植民を奬むべし」と云ふ第一聲を放つた人であるから、私達在伯同胞に取つては忘るゝことの出來ない恩人である。

牧草の種子 何んでも用意してある
時報商事部

雑記帖

目下上府中のバーロス執政官は、去る廿四日午後、内國經濟保護委員會總裁ジョアン・アルベルト氏と聖州の經濟問題に關し、長時間に亘つて要談した

「・・」

パリーの米國大使館一等書記官セシル・クロッス氏は、今度聖市駐在領事に任命された

「・・」

北極經由の米ソ連絡大飛行に成功し"スターリン空路"を開拓したヴアレリー・チカロフ氏は先年墜落慘死をとげたが、ソ聯政府では功績をたゝへ「ヴアレリー・チカロフ」の題名でその生涯を映畫化した

「・・」

「フイラデルフイア物語」に出演、四〇年度世界一俳優に推された聖林のジエームス・ステワート君は、今度兵役に編入され一年間訓練を受けることになつた、彼の週給は千五百弗であつたが、軍隊では月給廿一弗を支給されると

◇

これは!!おッ魂消た 世界一肥大漢の死
その原因が空腹とは？

亞國ブエノス・アイレスからの報に依れば「世界一の肥大漢」ことホセ・フエルナンデスはこの程同市で死亡したが、彼はシルコ役者としてその肥滿な體軀によつて人氣があつたものである、實に彼は肥大な男で自動車に乗るときなどドアを排して乗込むのにやつと通つたもので、彼が乗つたらそれ以上席が余らなかつた程で、恰もビール樽を打ちヒンヤイだ恰好だつたといふ、それもその筈、體重二七八キロもあつて普通人の四倍半の重さの大男であつた、尚々彼の死の原因が空腹だつたといふからいよいよ以て變つてゐる異人らしい最期であると專ら話題に上つてゐる

早起體操會
カンポス・ジョルドンへ遠足

岡田老人主唱の早起體操會は第二十三回特別遠足會を行ふことになつた、今回は二日間に亘り、カンポス・ド・ジョルドン療養所へ見舞と見學を兼ねた特別強行である、即ち三十日（日曜）午前七時十分ノルテ驛發の汽車で出發、翌卅一日午後七時歸聖の豫定である、見舞品としては日本のカキ餅若干の外、小谷呉山畫伯の筆になる「箱根山より富士山を望む」彩色日本畫一個である。尚旅費は一切で六七十釬見當で、申込は廿九日午前中までにリベルダーデ街四百番松本方、電話二一—四三九六に申込まれたしと

これじや前貸しも拂へぬ！
皮肉な天候のいたづらに凶作に喘ぐドラデンセ

アララクワラ、モヂアナ、ドラデンセ三線を廻つて、つい二、三日前歸聖した某氏の話によると、アララクワラ、モヂアナ二線の米、棉の作柄は餘り芳しくない中にも、世間で言ひふらされた樣な事はなく大體に六分乃至七分作と見られるが、ドラデンセ線に至つては話の外で、一部區域は普通作の所もあつたが、全般的には悲慘な狀態にあり、米は例のセッカでやられ、棉は最近の雨に惱まされるといふ皮肉な天候のいたづらに、青田貸し或はその他の方法によるフイナンシアメントの支拂ひさへも恐らく不可能な狀態に陷るのではないかと見られてゐる、所によつては棉は十分延びたが結實しなかつた所もあり、これは目下カンピーナスから農事技師を招き、或は種子に何かの缺陷でもなかつたものか調査研究中であると

「流轉の跡」出づ

輪湖俊午郎氏心血の短篇集「流轉の跡」が母國で、出版されたが先程當地に到着發賣してゐる

法律顧問
本籍を他へ移す事は可能か

【問】本籍を他に移轉する場合日本で爲すには謄本二通を要するが、領事館に移轉屆けを出すとすれば謄本は必要か否か、其他の事項を敎示下さい

【答】本籍を他に移す手續を爲す場合は戸主が必ずその地に在住しなければならぬ、從つて伯國に在住する者はこの手續は出來ない譯である、但し本籍より他の地に分家する手續は可能であるが、詳細は領事館へお問合せ下さい

棉の相場
サンパウロ棉花取引所建値
三月二十五日 單位十五キロ

	買値	賣値
四級	四二、〇〇〇	四、三〇〇〇
五級	全	全
六級	全	

縮寫鏡
"海の上に埃はたゝぬ"

リオの法廷に、珍離婚問題の裁判があつた……

伯國軍艦乗組みの一水兵さんは、結婚して二年經つ妻君に離婚を迫つてゐるが、彼の申立ては妻には少しも衛生觀念がない、吾々の住家も軍艦内のやうに清潔でありたい、然し妻は夫の希望通り、少しも掃除しやうとしない、家に歸つて見れば、家具類は埃で一杯だと云ふのだが、之に對する妻君の申譯が振つてゐる

夫の云ふ事は理窟にはならない、夫は軍艦の内を見て私に埃を拂へと命ずるが、軍艦の浮かぶ海上には埃がたゝないでせう

この珍裁判は、結局示談で終るらしい

助手即死!!
コチア産組のカミニオン顚覆

コチア産組運轉手康律某は一昨廿日イタケーラ方面へカミニオンを運轉集荷に赴く途中同植民地入口より一粁手前の地點で、雨の爲め車體が窪地にはまり込みアッと言ふ間に顚覆、この時足踏台にあつた助手ロッケ（伯人卅八才）は逃る術もなく車體の下敷となり即死した

蔬菜市場
三月廿六日（コチア産組調べ）

トマテエスペシアル	三九	四五
プリメーロ	三二	三八
セグンド	二六	三三
レポーリオ	二〇	二六
ピメントン	一五	二一
バージ	二〇	二〇
エルビーリア	二〇	三〇
ポブリンエヨ	二〇	三〇
ペピーノ	二〇	三一
人參		二、三〇〇
人參箱入り	一五	二〇
バタタ	一九	二三
ナス	五	一〇

コッペイラ雇ひ度し
鑑識手帳所持者にして身元確實なる女の方 月給二百釬
御照會は 二時より六時まで
Av. Angelica, 2424

腸炎 赤痢・アミーバ並びにマレッタ專門醫
大人、子供に拘らず根本的に治療す 二時より四時迄
ドットル アルベス・デ・リーマ
診察所 リベロバダロ街五六 一、二階 電話二一—四五九五 二時ヨリ 四時迄

社告
謹啓 時下愈々御隆昌之段奉賀候 陳者弊社外交員 大西武雄 儀 今回貴地方訪問致させ候に付ては宜敷御配慮の程御願申上候 敬具
昭和十六年三月二十七日
伯剌西爾時報社
パウリスタ本線 在住各位

PHARMACIA IRIS
R. 11 de Agosto, 345
Tel. 3-4767 S. Paulo
藥の御用命は是非定評ある イリス 藥局へ

風呂及釜 ブリキ細工
都會は弊店製に限る衛生に經濟に又木製より強く大衆向きであります
駒場ブリキ店
コンデ・デ・サルゼーダス六七

借地農募集
待望の豊沃地 ファゼンヂニヨ及サンタ・ビルヂニア耕地
壹千五〇〇域が開放されました
此の絶好の機會を見逃す勿れ！
位置 ソロ線サンタ・クルース・ド・リオ・パルド驛より約二十五粁。同サン・ペードロ・ド・ツルボ町より約四粁
絶對の健康地にして水質極めて良好、交通至便にして乗合自動車の便有り。御照會は左記へ
所有主 パスクアル・エ・ジョゼ・コンゾ氏
アベニーダ・ランゼル・ペスターナ一二一〇番 電話 二—八七九一
Snr. Paschoal e José Conzo
Av. Rangel Pestana, 1210 São Paulo

陶器職人數十名募集
一、機械轆轤師
一、彫刻原型師
一、陶畫師
一、窯燃師
某外人陶器會社にて入用に付陶器製造に經驗ある者優遇す、經歷書郵送姓名年社

募集
女事務員 高等女學校卒業者 壹名
女工さん 勞働手帳所有者 數名
ファルマキオン合資會社
聖市サン・ヂョアキン街一九八
面會時間 午前七時半……十一時半迄

安くておいしい
醤油の素
一、持ち運び至極輕便—五リツトルの醤油の代りに一リツトルで濟む
二、値段格安！消費税や運賃が五分の一になるから値段も殆んど半値
三、榮養價値！在來醤油の二倍以上
四、うまさ！普通の醤油の追隨を許さず
御購入は各地有名アルマゼンへ

借地農募集
有卦に入つた北パラナ中心地 ピリアニツト驛から四キロ—八キロ以内の肥沃地帶を四ケ年契約で有利な條件で借地が出來ます
借地農から獨立農へ
詳細は北パラナ ピリアニツト驛
日伯産業會社事務所 杉谷茂一
Estação Pirianito S. P. P.

謹告
着て心地の良い 見て上品な御仕立は 皆様の矢部
初秋の砌奥地皆様にも益々御健勝の事と拜察いたします さて弊店儀も皆様日頃の御愛顧に依り益々隆盛、洋服は矢部と定評を戴いて居りますことは一重に皆様の御引立の賜と厚く御禮申上ぐる次第で御座居ます さて此度奥地 皆様の御奬めに依り例年の通り、パストス、ツッパン、ポンペイヤ、マリリヤ方面に特別出張、御調製申上ぐる事になりましたにつきましては、是非とも此の機を御利用下さいます樣伏してお願ひ申上げます 敬白
三月廿七日
聖市コンデ・ド・ピニヤール一〇二 電話 三—五二六四
矢部洋服店主
奥地各位様

Empresa Constructora Universal Ltda.
ウニヴエルサル建築債券
聯邦政府認可監督（全國到る處に代理店あり）
本社 聖市リベロ・バダロ街一〇三—一〇七 郵函 二九九九
千三百五十コントスに達する、二十一萬一千百五のプレミオを毎月抽籤にて支拂ふ最大、確實の
左記一九四一年三月二十五日抽籤結果を御覽下さい
當籤番號 プリメイロ 七、九二一 セグンド 四、九二三
建築債券當籤番號 B、C、D 三七、九二一
建築債券當籤番號 H 九二三、九二一
◆建築債券當籤番號表

プラノ ムンヂアル	(B) 月掛金額 二十ミル	(C) 月掛金額 十ミル	(D) 月掛金額 五ミル	プラノ ウニヴエルサル	(H) 月掛金額 五ミル
三七、九二一	[illegible]	二五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	九二三、九二一	一〇〇、〇〇〇
四七、九二一	四〇、〇〇〇	四、〇〇〇	一〇、〇〇〇	〇二三、九二一	二五、〇〇〇
九七、九二一	四〇、〇〇〇	八、〇〇〇	五、〇〇〇	一二三、九二一	二〇、〇〇〇
六七、九二一	四〇、〇〇〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	二二三、九二一	一五、〇〇〇
七七、九二一	二〇、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	三二三、九二一	一〇、〇〇〇
七九二一	九、〇〇〇	一、五〇〇	五〇〇	三、九二一	五〇〇
九二一	二〇〇	一〇〇	五〇	九二一	五〇
二一	四〇	二〇	一〇	二一	一〇

總てB債券で「一」終る番號所持の方に翌月掛金免除、同樣C、D、H債券で「一」及び「三」で終るものは翌月掛金免除
▲次回抽籤は來る一九四一年四月二十五日午
本社事務所に於て行ふ
▲今直ぐ、此の信用確實、有利
を申込みあれ！

Redação — Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H

Director Masahiro Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ..... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero do dia .... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV S. PAULO — QUINTA FEIRA 27 de MARÇO de 1941 DIARIO No 2439

ASSISTENCIA AOS PESCADORES

RIO 21 (Via Vasp) — Com a creação da Polyclinica dos Pescadores, pelo decreto-lei baixado no dia 11 do corrente mez fica completa a obra de assistencia social de uma classe numerosa que, na sua vida molesta e afanosa lidando diariamente com toda a sorte de perigos contribue poderosamente para o engrandecimento da economia nacional.

A assistencia aos pescadores e suas familias offerecida pela polyclinica abrange serviços medicos, cirurgicos odontologicos e pharmaceuticos. Para se ter uma idéa exacta da importancia do acto governamental basta conhecer o grande numero de pessoas attingidas: perto de quarenta mil. O novo Departamento está perfeitamente apparelhado para cumprir a sua finalidade. Possue doze ambulatorios uma secção de assistencia medico-social e dispõe de completo serviço de soccorro urgente.

Ao Ministro da Agricultura que tanto tem feito no sentido da pesca e do amparo da classe dos pescadores se devem as informações e os dados que orientaram o Chefe do governo na expedição do importante decreto-lei.

E' pensamento do sr. Fernando Costa dotar a Polyclinica dos Pescadores de pessoal technico recrutado entre verdadeiras capacidades na medicina na cirurgia na odontologia, etc. de modo que na pratica se alcancem os objectivos que se teve em mira ao crear o novo serviço. Estamos seguramente informados que já se acham escolhidos os principaes elementos que devem chefiar os serviços da Polyclinica dos Pescadores. Os nomes apontados são de pessoas a que não faltam competencia capacidade de trabalho e dedicação.

Para dirigir o novo instituto foi escolhido o dr. Raymundo de Britto, medico grandemente conceituado em nosso meio onde firmou o seu nome como assistente e livre docente da Faculdade de Medicina da Universidade do Brasil.

A creação do novo departamento enquadra dentro da orientação do Estado novo que vem desenvolvendo com coragem um amplo programma de assistencia social.

Pouco a pouco, mas com decisão e firmeza vão sendo abrangidas todas as classes. Os pescadores, pelas condições em que se desenvolve a sua actividade diaria levam uma existencia penosa e desconfortavel. Vivem em praias e restingas quasi sempre insalubres.

Impunha-se a providencia contida no decreto-lei baixado dia 14 pelo Presidente Getulio Vargas.

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

CONVENIO DOS ESTADOS CAFÉEIROS

Sessão inaugural realizada hontem na séde do D. N. C. sob a presidencia do dr. Jayme Fernandes Guedes — Como estão constituidas as delegações estaduaes

RIO, 24 (Pelo telephone) — Realizou-se ás 15 horas na séde do Departamento Nacional do Café, a sessão inaugural do Convenio dos Estados Caféeiros.

O Convenio tem por finalidade traçar os novos rumos da politica economica do café, de vez que o prazo do anterior expira a 30 de junho proximo.

Presidiu os trabalhos o sr. Jayme Fernandes Guedes presidente do DNC, que de inicio justificou a ausencia do sr. Ministro Sousa Costa e apresentou em seu nome e no titular da pasta da Fazenda votos de boas vindas a todos os convencionaes. Fez, a seguir suscinta exposição sobre os objectivos da assembléa focalizando a presente situação do café dentro e fóra do paiz.

Enumerou os assumptos que deverão ser tratados no presente conclave além de outros mais que venham a surgir no decorrer das discussões, tendo os representantes dos Estados caféeiros, iniciando immediatamente o estudo das diversas materias. Os trabalhos se prolongaram até á [illegible]30 horas, quando foram suspensos marcando-se outra reunião para amanhã, ás 15 horas.

Estiveram presentes os directores do Departamento Nacional do Café srs. Coraldino Lima e Oswaldo de Barros. As delegações dos diversos Estados estavam assim constituidas.

São Paulo: — Alvaro Rodrigues dos Santos, Governo: Luis Vicente Figueira de Mello, Lavoura; Jão Mellão Commercio.

Minas Geraes: — Francisco Balbino Noronha Almeida Governo; Joaquim Villela, Lavoura e Antonio Stockler de Queiroz Commercio.

Paraná: — Interventor Manuel Ribas, Governo; Jão Aguir, Lavoura; Jayme Canet, Commercio.

RIO de Janeiro: — Walfredo Martins, Governo: Franklim Rabello Lavoura; Argemiro Hungria Machado Commercio.

Bahia: — Autran Dourado, Governo; Candido Trancoso, Lavoura; Salvador Ribeiro Gama, Commercio.

Goyaz: — Benjamim da Luz Vieira, Governo; Diogenes Magalhães Silveira Lavoura; Valerio Xavier Brandão Commercio.

Pernambuco: — Arthur Moura, Governo: José Pereira de Albuquerque Lavoura; Mario Penna, Commercio.

A CÊRA DE ABELHA

RIO, 21 (Via Vasp) — O Brasil é um grande productor de cera de abelha e tambem um importante fornecedor desse producto aos Estados Unidos.

Conquanto sejamos o principal vendedor de cêra de abelha á Norte-America não somos ainda o numero um da lista dos vendedores pois temos na nossa frente Angola, Australia Tanganica e a Africa Oriental Franceza.

A exportação brasileira de cêra de abelha no ultimo decennio está indicada no quadro que damos a seguir:

Annos	Kilos
1930	471.923
1931	617.819
1932	356.183
1933	460.619
1934	635.541
1935	690.656
1936	749.969
1937	735.085
1938	394.767
1939	965.377

O Chile é o nosso maior concorrente na America Latina, seguindo-se-lhe Cuba Mexico e Republica Dominicana.

Devemos porém confessar que o clima brasileiro favorece a formação e desenvolvimento das colmeias.

Serviço de registo de estrangeiros no Districto Federal

RIO, 21 (Pelo telephone) — A Agencia Nacional enviou á imprensa a seguinte nota:

Já está em vigor no Districto Federal o decreto-lei n.º 3.082, de 28 de fevereiro de 1941 que obriga o registo de todos os estrangeiros que entram ou entrem no paiz em caracter temporario.

Para esse fim o Serviço de Registo de Estrangeiros distribuirá formulas especiaes de requerimentos a serem preenchidas pelos interessados que deverão estar munidos dos respectivos passaportes tres photographias de accordo com o modelo adoptado.

O Serviço de Estrangeiros chama a attenção dos interesados sobre o preenchimento do formulario que deve ser feito com perfeito conhecimento de causa pois a lei não conhece outra responsabilidade senão as de que a subscrevem.

COMMISSÃO ESPECIAL PARA ESTUDO DAS CONDIÇÕES DO MERCADO INTERNO

Cerimonia realizada no Conselho Federal do Commercio Exterior — Declarações do ministro João Alberto

RIO, 24 (Pelo telephone) — Tomou posse hoje, as 15 horas, no Conselho Federal do Commercio Exterior, a Commissão Especial destinada a estudar as condições do mercado interno.

Essa commissão, composta dos srs. João de Lorenzo, presidente: Paulo Magalhães, Hildebrando de Góes, Mario Altino Corrêa de Araujo, Arthur Castilho e Vicente Galhez, foi nomeada pelo Presidente Getulio Vargas, por proposta do ministro João Alberto.

Abrindo os trabalhos, o presidente da Commissão de Defesa da Economia Nacional salientou a importancia e a complexidade dos estudos a cargo da commissão. Mostrou o erro dos que, presos aos dogmas do liberalismo economico advogavam para o Brasil a funcção de exportador de materias primas. As nossas industrias cresceram assim, sem o amparo official, por esforço exclusivo da iniciativa particular. O caminho certo é o da industrialização sem abandono da agricultura.

O equilibrio, a verdadeira independencia economica, repousa na dupla base da industria e da agricultura. Antigamente visava-se, unica e exclusivamente o mercado externo. Nenhuma medida para o fortalecimento do mercado interno.

Hoje, segue-se caminho diverso: todo o esforço da producção visa, em primeiro lugar o consumo interno. Exportam-se as sobras. E' typico o caso dos Estados Unidos: 99% ou talvez mais da sua enorme producção consumida no proprio paiz. O governo brasileiro comprehendeu o verdadeiro caminho.

Proseguindo na sua exposição o ministro João Alberto fez sciente aos componentes da commissão, das suggestões apresentadas. Ao Chefe da Nação e que comprehendem a planificação da producção através de uma politica de melhores preços; a creação de facilidade para circulação externa da riqueza; o estudo das verdadeiras possibilidades em materias primas a fim de libertar a industria nacional do onus da importação estrangeira; o desenvolvimento da electrificação como base da industria do transporte; collocação dos meios financeiros a serviços da economia nacional.

Lembrou tambem que devemos encarar a exportação como consequencia natural do alto rendimento da nossa producção, bem como importar de preferencia aquillo que concorra para melhor equipamento economico e militar.

A seguir os membros da Commissão de estudos das condições do mercado interno trocaram idéas a respeito da melhor organização dos seus trabalhos.

Proxima visita do sr. dr. Adhemar de Barros a Cruzeiro

O sr. Adhemar de Barros, Interventor Federal, realizará no proximo dia 30 do corrente, uma viagem a Cruzeiro, afim de inaugurar a ponte sobre o rio Parahyba ligando Cruzeiro ao districto de Itagaçaba. Essa ponte de concreto armado foi construida pela Secretaria da Viação e denominar-se-á «Adhemar de Barros».

Em companhia do sr. dr. Adhemar de Barros viajarão os srs. José de Moura Rezende, Secretario da Justiça Guilherme Winter, Secretario da Viação; José Rubião, director do Departamento das Municipalidades, e João Baptista Ferreira.

O programma de recepção, na cidade de Cruzeiro, foi organizado da seguinte maneira: o dr. Adhemar de Barros chegará á cidade de automovel, precedido por motocyclistas, ás 10 horas da manhã sendo recebido na praça Rubião Junior ao som do hymno nacional. Os escolares e esportistas ficarão dispostos em fila, pelas ruas por onde deverá passar a comitiva official. Do palanque official, armado no centro da cidade, o sr. dr. Adhemar de Barros assistirá ao desfile do Tiro de Guerra escolares, esportistas e classes trabalhistas.

A's 11 horas o sr. Interventor dirigir-se-á, de automovel ás margens do rio Parahyba onde presidirá a solennidade da inauguração da ponte.

A's 12 horas o sr. Interventor Federal visitará o Gymnasio e Escola Normal, onde assistirá á inauguração do seu retrato. Visitará, em seguida a Santa Casa de Misericordia e o Centro de Saude.

A's 13 horas haverá um almoço offerecido pela sociedade local, no Theatro Capitolio á comitiva official.

Depois do almoço o sr. Interventor Federal visitará os edificios da Prefeitura e do Forum.

A's 16,30 horas, dar-se-á a partida para Cachoeira, de regresso para São Paulo.

Adiada a viagem do sr. Interventor Federal a Marilia

Conforme já tivemos o ensejo de noticiar, o sr. Interventor Federal dr. Adhemar de Barros devia ter visitado a cidade de Marilia em fins da semana passada.

Nessa viagem s. exc. iria presidir a inauguração de diversos melhoramentos locaes e á sessão de encerramento do Congresso Algodoeiro, recebendo tambem expressivas homenagens do governo e população daquella prospera localidade.

Em virtude entretanto, do adiamento do Congresso Algodoeiro e da visita que o sr. dr. Adhemar de Barros está realizando á capital do paiz, para tratar de assumptos de interesse da administração estadual, a viagem de s. exc. a MMarilia foi transferida para occasião mais opportuna.

Producção de cereaes

RIO, 24 (Via Vasp) — O Brasil dispõe de condições ecologicas favoraveis a quasi todas as culturas.

O cultivo dos cereaes, tão importante para a alimentação de nosso povo, tem merecido do governo vigoroso apoio e estimulo. Assim amparados nossos agricultores ampliam cada vez mais suas áreas de culturas desenvolvendo, dessa forma, a producção do arroz, aveia, centeio, cevada milho e trigo.

E', entretanto, a experimentação agricola, recentemente reorganizada no Ministro da Agricultura, que, dentro de breve futuro, virá racionalizar os methodos de producção, creando e melhorando variedades, para a obtenção de maiores rendimentos e mais resistentes ás pragas e doenças.

Segundo estimativa organizada pelo Serviço de Estatistica do ministerio da Agricultura, o Brasil produziu em 1939, 23.341.762 saccas de 60 kilos de arroz; 12.700 toneladas de aveia; ... 20.312 toneladas de centeio; 12.625 toneladas de cevada; 99.027.756 de 60 kilos de milho e 150.343 toneladas de trigo.

O Norte concorreu 963.120 saccas de 60 kilos de arroz e 489.660 saccas de 60 kilos de milho. O Nordeste com 483.065 saccas de 60 kilos de arroz e 5.086.817 saccas de 60 kilos de milho. O Leste, com 320.319 saccas de 60 kilos de arroz: 5.653.506 saccas de 60 kilos de milho e 15.000 kilos de trigo. O Sul com 14.281.518 saccas de 60 kilos de arroz; 12.670 toneladas de aveia; 30.312 toneladas de centeio; ... 12.625 toneladas de cevada; 59.830.807 saccas de 60 kilos de milho e 150.203 toneladas de trigo. Finalmente, o centro concorreu com 7.288.740 saccas de 60 kilos de arroz; 23.561.846 saccas de 60 kilos de milho e 126 toneladas de trigo.

O maior Estado productor de arroz, em 1939 foi S. Paulo com 7.800.000 saccas de 60 kilos; de aveia, o do Rio Grande do Sul com 12.040.000 kilos; de centeio, o do Paraná com 11.280 toneladas; de cevada o de Santa Catharina com 11.200 toneladas; de milho, o de Minas Geraes com ..... 24.581.320 saccas de 60 kilos; e de trigo o do Rio Grande do Sul com ... 126.203 toneladas.

Um valor! Uma oportunidade!
Um excelente negocio!
Na Colonia Nipponica!
"ANNUNCIOS"
Sirva-se dos
do
"NOTICIAS DO BRASIL"
Rua Fagundes, 196 - Phone 7-4670
Caixa Postal, H. S. Paulo

LEIA O NOSSO
KODOMO NO SONO
Supplemento do jornal "Noticias do Brasil"

日本人も協力を

棉實粕の利用運動

第一に役畜の飼料に

今年の棉業界の惱みの種は棉實粕がサッパリ賣れないことである、從つて値段が馬鹿に下落し、これが忽ち實棉買付け値に影響して實棉の値段を引き下げることになる、只さへ不景氣來に怯えてゐる業界に取つて棉實粕の安値は辛事の一つである

値段が無くなつた大原因は歐洲市場が戦火のためケシ飛んだため市場を喪つた事に歸因することは謂ふまでもない、從つて昨今聖州農界では棉實粕消費增加は即ち棉花値段引上げ策の對應法として採り上げられ、盛んに消費增加が奨勵されだした、之に對する日本人の協力は當然の責務であつて是非共考慮されたい、肥料として良い事は既に報道して置いた通りであるが、更に有利な用途は家畜家禽の飼料に振り向けることに在る、大體その四分の一は蛋白質で其の利用價値は大豆のそれと較べて勝るとも劣らない、牛、馬羊、豚、鶏、鵝、七面鳥、家鴨等何れにも良い、ブーロ、馬等の勞働中の飼料としては特に良く、奥地で最も手に入り易い材料の配合の例としては

實粉	一五
ミリヨ	五五
マ チオカのラスパ	一五
米糠	一五

右に鹽一匙を加へると強力な濃厚飼料となり、奥地で見受けるミリヨ不消化のため其儘糞中に失ふ様な損失はないこれは專ら棉實粕の効用である

牛の場合は右の配合に多量の青草混用が必要であり、之を怠ると腸内發酵のため思はぬ損害を被ることがある

ライ麥の特効

乾燥期に偉力

毎年乾燥季に入ると決つたように發生する家畜病に鵞口瘡といふのがある、マンケイラとブラジル人に聞けば良く分るもので、口から泡を吹きビッコになる、原因は一種の極微細菌で普通顯微鏡では其の形さへ認め難いシロ物であるセッカの爲め榮養不良の家畜がかゝり易い處から一種の生理病たとさへ稱へられてゐる病氣であつて今尚相當不明な點が殘されてゐる

この病氣の療法として最近問題になつてゐる一つに食餌療法が考案され相當効果を擧げた報告があるから報告しよう材料はドイツ人御自慢の黒パンの原料ライ麥 伯名センテイオ）を冬中切らさず植えて置き、此れを飼料として食はせると完全に、免疫に又病畜でも快癒するといふのである牧牛家に耳寄りな話の一つ

奥地農家に

今後の小使取り

何處へ行つてもあるブレージョは今後乾燥と共に開拓に非常に便利である、第一に幅五十センチ深さ五十センチ乃至一米突の排水溝を作り、半月程經過後耕起すると立派な野菜畑となる、排水溝を流れる水のため蔬菜類一般につき易いあぶら虫を運搬する蟻サウーバ等を防ぎ面白い程作柄が良いものである

排水溝を作ると同時に別の場所にトマテの苗床を作る、一ヶ月で丁度この苗が件の畑に適當な大きさに達するから、定植すると七月末、乃至八月初には初果を見、九月中に片づく事になり、此間慾と二人連で畑を充分馴らし、翌年度用稻田として理想的な地ごしらへが出來上る、若しも奥地の驛近くであるならば冬季トマテが最も缺乏する聖市々場に出して相當な小金儲けになること請合ひである、但霜の處ある場所は保證の限りにあらず、胡瓜ならもつと勝負は早くこれは直播きにして滿四ヶ月で充分片づく、霜に弱いことはトマテ以上であるだけに聖市の冬市場に出すことが出來ればタンマリ小金が儲かるです、賣る方はコチア產業モチ產組、ジュケリー產組等賣店を持つてゐるから依託して置いて適當の時期に聖市へ出て金を受け取れば宜い、胡瓜は必ず青大種を植えること此處らにザラに在る劣な品種だと同じ骨折りをして半分も儲けがない

ユーカリ樹

人絹になる

スペイン政府の招聘を受けて出張調査研究をやつてゐた人絹方面の權威の報告によるとブラジル同様スペイン各地に廣く植林されてゐるユーカリは人造纖維として非常に優秀な原料となることが實驗證明された、製糸原料としては稍纖維け短いが一度溶解して後糸をひくと強靭且つ立派な艶ある人造糸となり人絹、スフとして優良なことが報告してある、此の報告には聖州林業界も大變な反響を生じ非常な注目を拂つてゐる、四年物で充分に役立つそうでユーカリ林業界の一大福音である

新刊紹

酪農の指針書

マンテイガ及びケー業化（Manteiga e Queij Sndustriaj

聖州農務局出版部く刊行され、希望で配布されます、日で最も不得手な畜產も大分熱心家が各地に續出しゝある折柄、畜產の副產物等の利用は是非共考慮に入れて置く可きことで、オランダ、デンマーク等の農業發達、產組の發達の基礎を形成した產業である

聖市及びリオ等の大都市の住民 部分は酪農品が無くては暮せない人種の集合地だけに充分將來性ある仕事の一つで充分注意すべきものと謂へる酪農製品は絶えず不足勝ちで市場の心配なく父女子供の副業として充分成立する一つでその指針として實に打つてつけの教科書で、葡語の達者な人々は是非備ふべき良書として推奬する

ARMAZEM KAIKO LT
SECÇAO DE ADUBOS
Caixa Postal, 1602 São Pa

骨粉
マタドール
米糠 等各種
○
肥料大量揃へて居ります
此際多少に拘わず御用命の程
願上げます

告示

昭和十四年三月十六日迄ニ當館ニ對シ申出有之タル國防獻金ニ對スル感謝ハ中左記宛名ノ者ハ曩ニ當館ニ於テ夫々發送セルモ住所異動等ノ理由ニ因リ返送セラレタルニ付保管中ナリ就而該當者ハ獻金年月日及其ノ金額ト共ニ現住所明記ノ上至急御申出相成タシ

記

一、昭和十二年十二月三日附 陸軍大臣感謝狀

曇谷吉兵衞 レノポリス日本人會、レノポリス青年會、ポヅジユール日本人會代表高田清之進、レーテパスト在留日本人代表松尾傳次、クルースプレタ小學校代表三浦清五郎アレグリン花園小學校生徒一同、カプテーラ青年會代表長谷川榮一、コルネーリオ・プロコピオ在留日本人、ルテシア日本人代表荒毛勝市、メーアルア日本人會、リベロン・グランデ青年會、リベロン・グランデ昭和會、ガルオ植民地處女會代表角館緑、西村ハマジ、星井友一、石坂義太郎萩原清次、ヴイルヂンニヤ日本人會、平和日本人會、一樹會外九名、ジヤンント日人會、山内薫、吉田朝二、清水正清水武男、柿森好松、穂積倉次、岡田小登、菊地ヨシエ、片山宇與次、野田治士、野間淺香、梅木一男、高田寅一、橘六男、高橋喜佐一、上野清吉、瀧端清太郎、淺野伯國支店々員一同、ジオゼー・アントニオ・ネーベス・クロス、共和植民地女子青年會

一、昭和十三年十一月一日附 大藏大臣感謝狀

門口增市、石峰一郎、モーロ・アグード職合青年會、星野勝藏

一、昭和十三年十一月十八日附 外務大臣感謝狀

野木太三郎、秋永巖、横溝定雄、樫原部賴、本間芳雄、クバトン日本人會、太田モトヨシ外三名、マノエル・アウグスト・ロペス、ペデリンニオ・オツトー、松尾豊、三本菅俊惠

一、昭和十三年十二月三日附 陸軍大臣感謝狀

フレゲジアードオ青年倶樂部、サンパウロ天理教會代表太田フキ、サンタイネス日本人會代表枷瀬勇、田代新吾、安原新藏、大畑金助、杉・博、佐枝實男、湊山治定、星井友一、石丸權作、藤崎二三四、福山末太、伊藤壽次郎、高橋喜佐一、小林良定、宮崎宇太郎、丸藤義成、中村由記、中路貞喜、中島小太郎、山下忠藏、山本禰雄、吉崎增男、安達勇、時松義雄、坂本安太郎

昭和十六年三月二十四日

在サンパウロ
大日本帝國總領事館
Consulado Geral do Japão
Caixa Postal, 1167 - São Paulo